



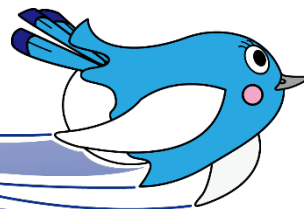
2017年3月期 決算説明会

富士機械製造株式会社

2017年5月

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

「株式会社 FUJI」へ社名変更



変更理由：

- ①グローバルブランドを強化し定着させる
- ②ロボット技術を根幹に事業領域を拡大させる

変更予定日：2018年4月1日

連結経営成績

	15.4-16.3実績	16.4-17.3予想 (2016.11.10発表)	16.4-17.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	82,651	86,000	94,024	+11,373 +13.7%	+8,024 +9.3%
売上高	86,642	84,000	86,397	▲245 ▲0.3%	+2,397 +2.9%
営業利益	11,901	8,200	9,794	▲2,107 ▲17.7%	+1,594 +19.4%
経常利益	11,991	8,200	10,200	▲1,791 ▲14.9%	+2,000 +24.3%
当期純利益	7,232	6,000	7,054	▲178 ▲2.5%	+1,054 +17.5%

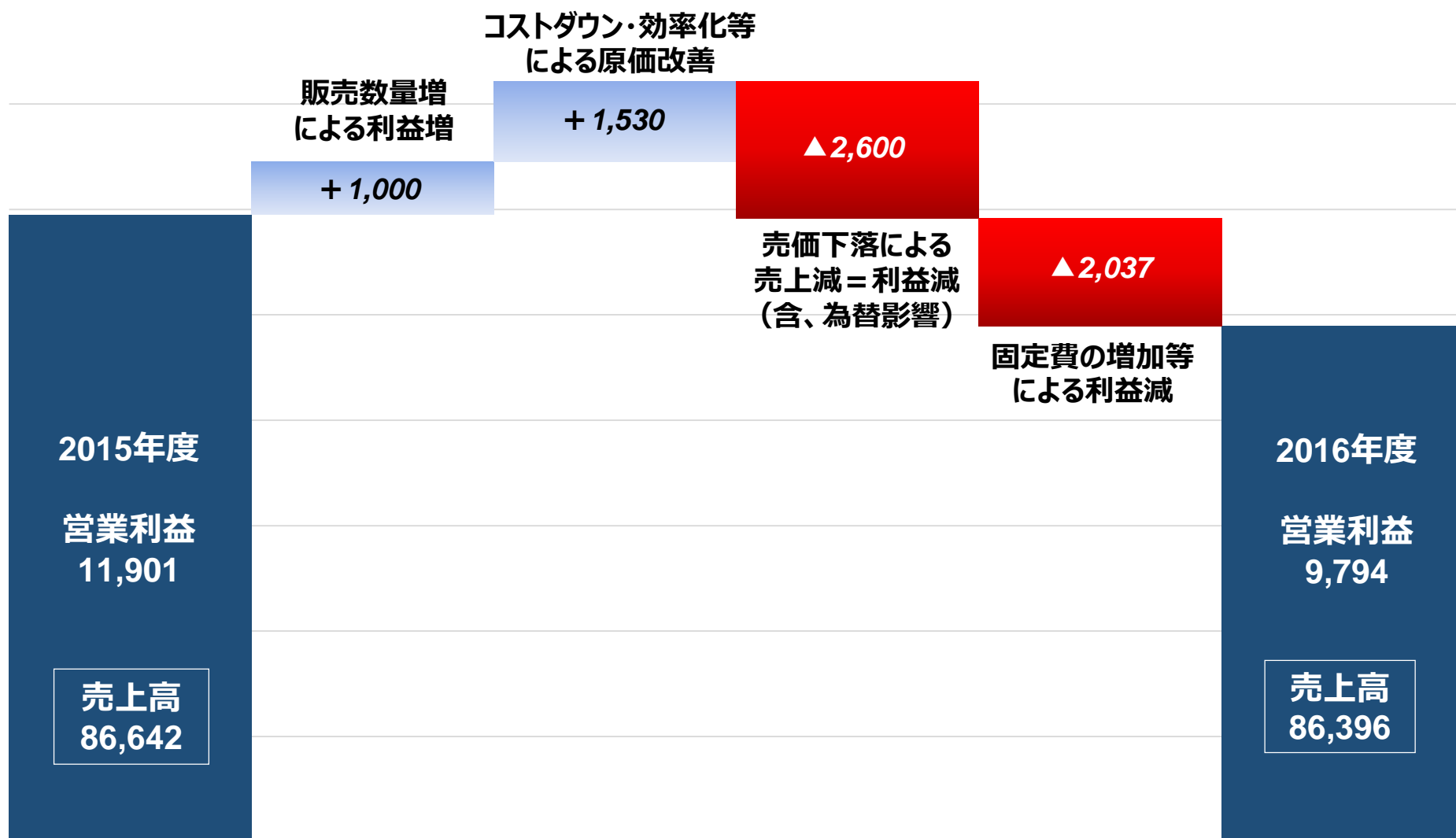
* 退職給付計算における数理計算上の差異等の一括費用処理による営業利益への対前期比影響額が約14.5億円ありました。

(円)

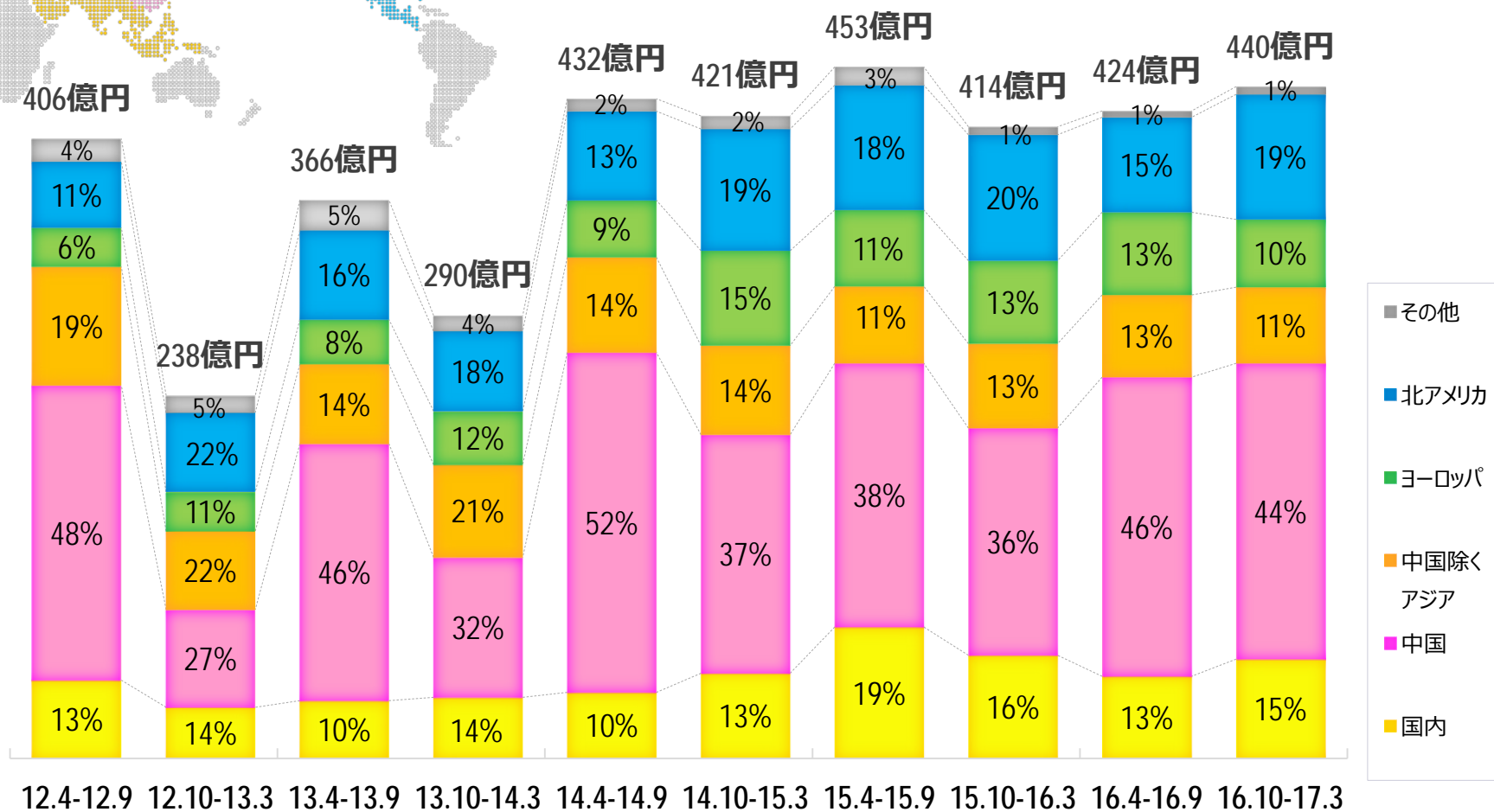
1株当たり 当期純利益	74.13	63.56	76.19	+2.06	+12.63
1株当たり 配当金	28.00	30.00	30.00	+2.00	±0

営業利益増減分析

(単位：百万円)



地域別売上高推移



セグメント別実績

(百万円)

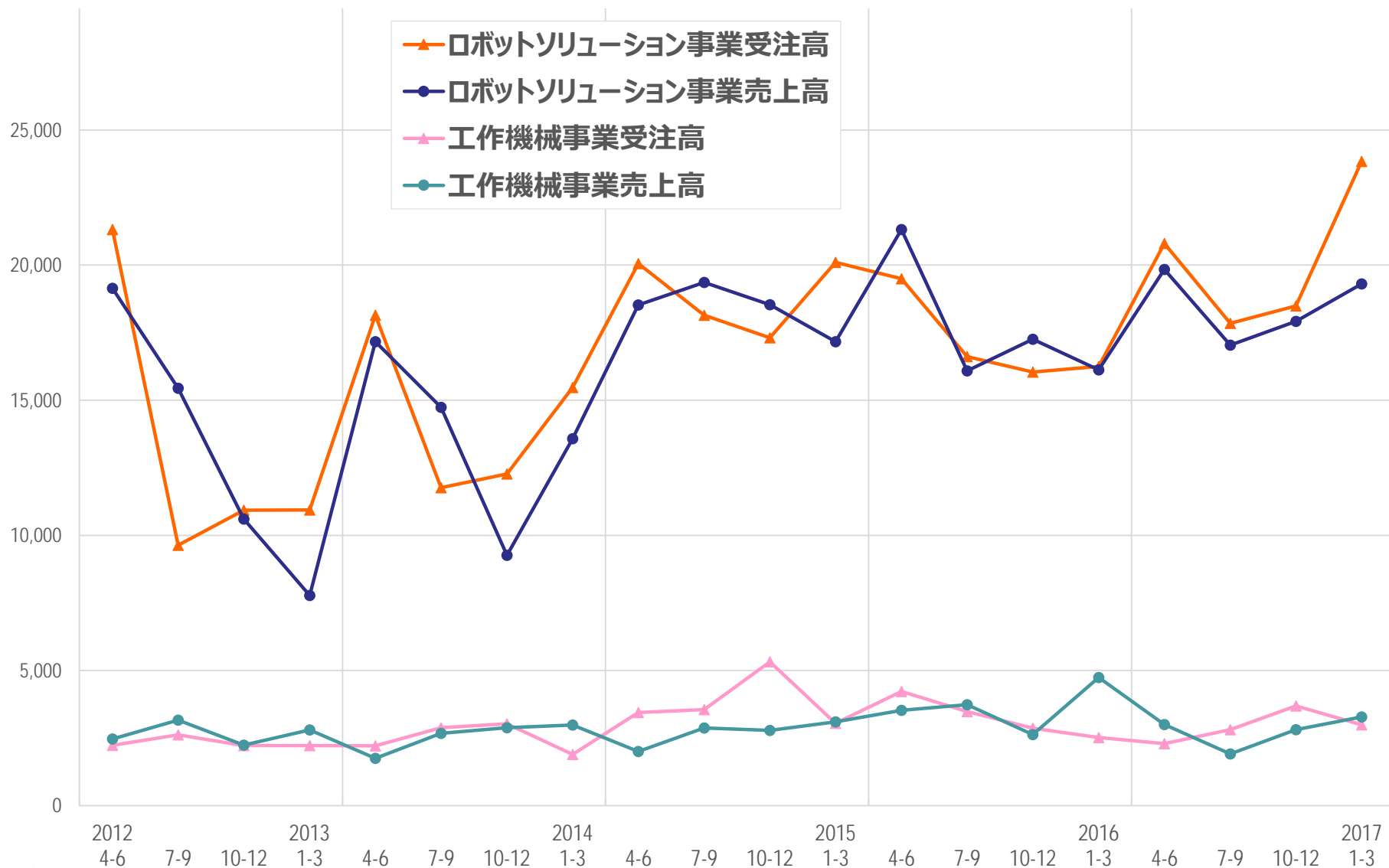
ロボットソリューション	15.4-16.3実績	16.4-17.3予想 (2016.11.10発表)	16.4-17.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	68,408	73,000	80,981	+12,573	+7,981
売上高	70,786	71,500	74,105	+3,319	+2,605
営業利益	14,527	---	14,545	+18	---
受注残高	9,310	10,811	16,187	+6,877	+5,376

(百万円)

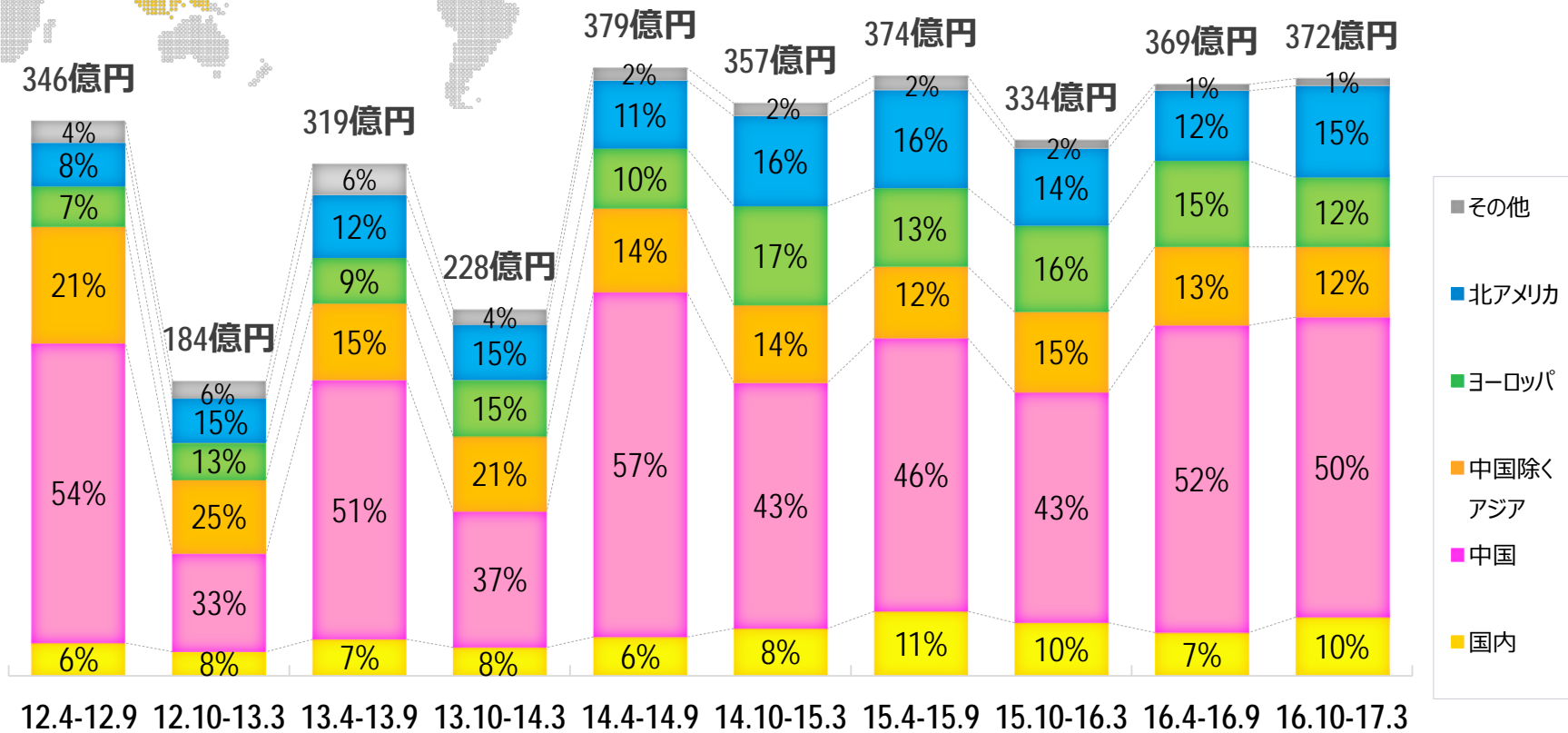
工作機械	15.4-16.3実績	16.4-17.3予想 (2016.11.10発表)	16.4-17.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	13,080	11,500	11,776	▲1,304	+276
売上高	14,623	11,000	10,997	▲3,626	▲3
営業利益	614	---	▲712	▲1,326	---
受注残高	6,874	7,375	7,654	+784	+279

四半期別受注高・売上高

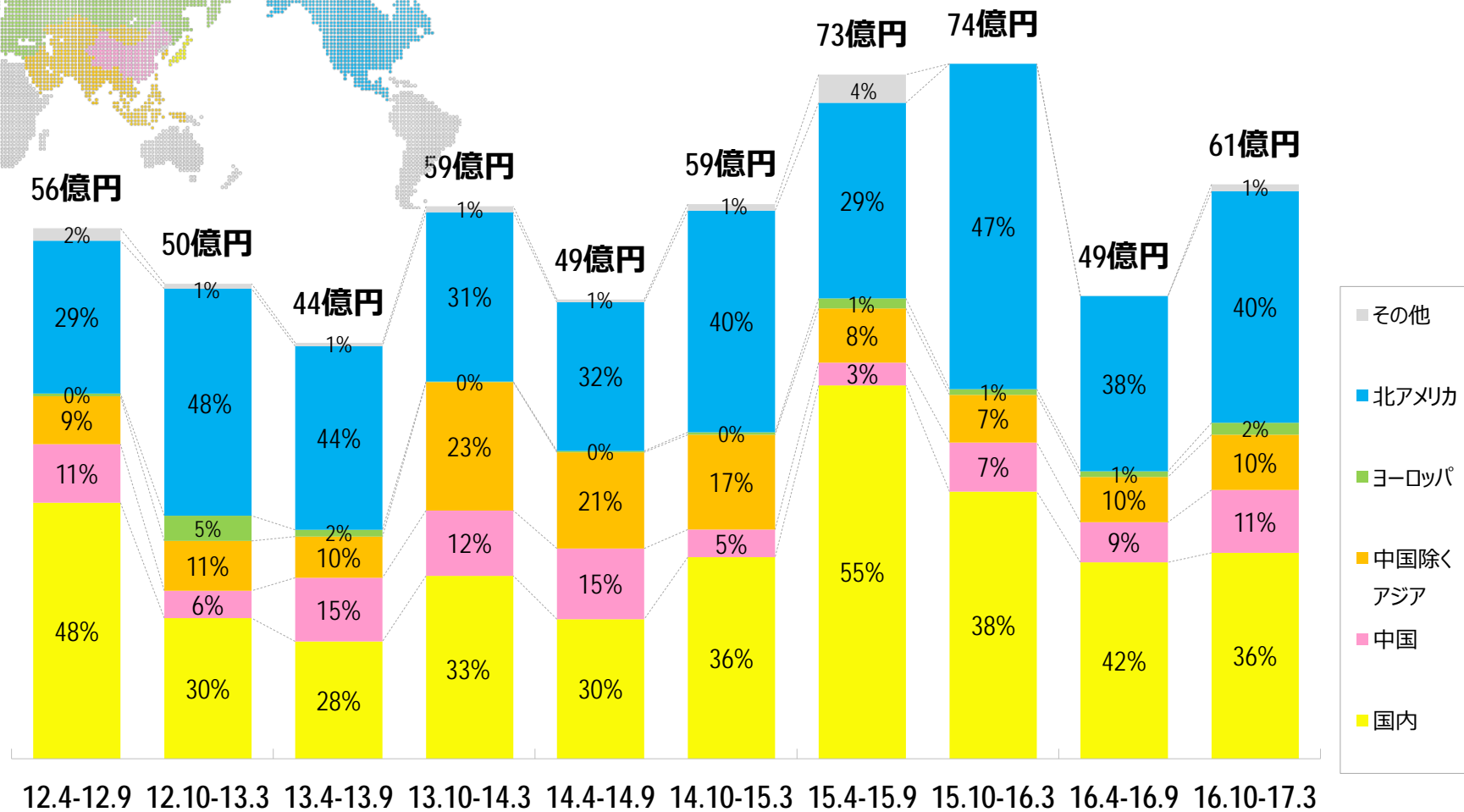
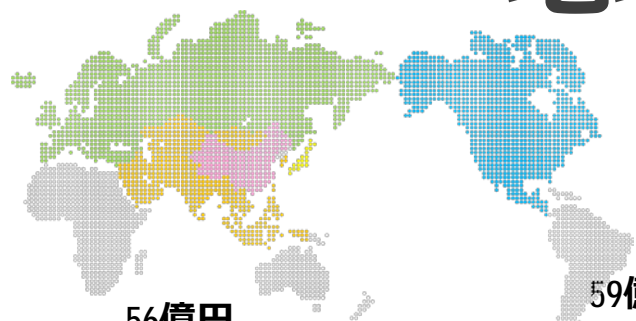
(単位：百万円)



ロボットソリューション事業 地域別売上高推移



工作機械事業 地域別売上高推移



連結業績予想

(百万円)

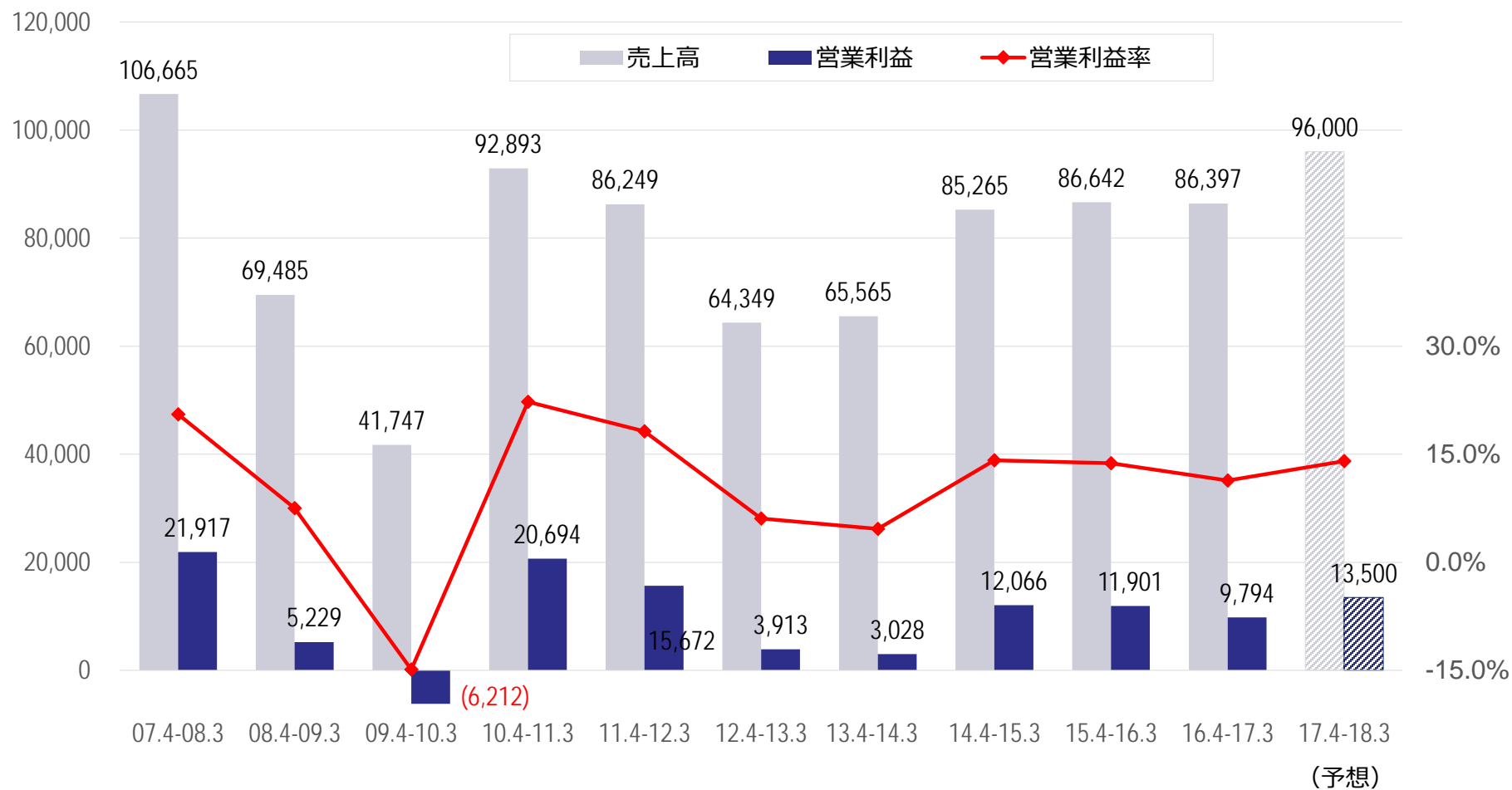
	16.4-17.3実績	17.4-17.9 上期予想	17.4-18.3 通期予想	対前期増減
売上高	86,397	50,000	96,000	+9,603
営業利益	9,794	7,700	13,500	+3,706
営業利益率	11.3%	15.4%	14.1%	+2.7%
経常利益	10,200	8,000	14,000	+3,800
当期純利益	7,054	5,700	10,000	+2,946

(円)

1株当たり 当期純利益	76.19	63.72	111.79	+35.6
1株当たり 配当金	30.00	20.00	40.00	+10.00

連結売上高・営業利益推移

(百万円)



セグメント別受注・売上予想

(百万円)

受注高

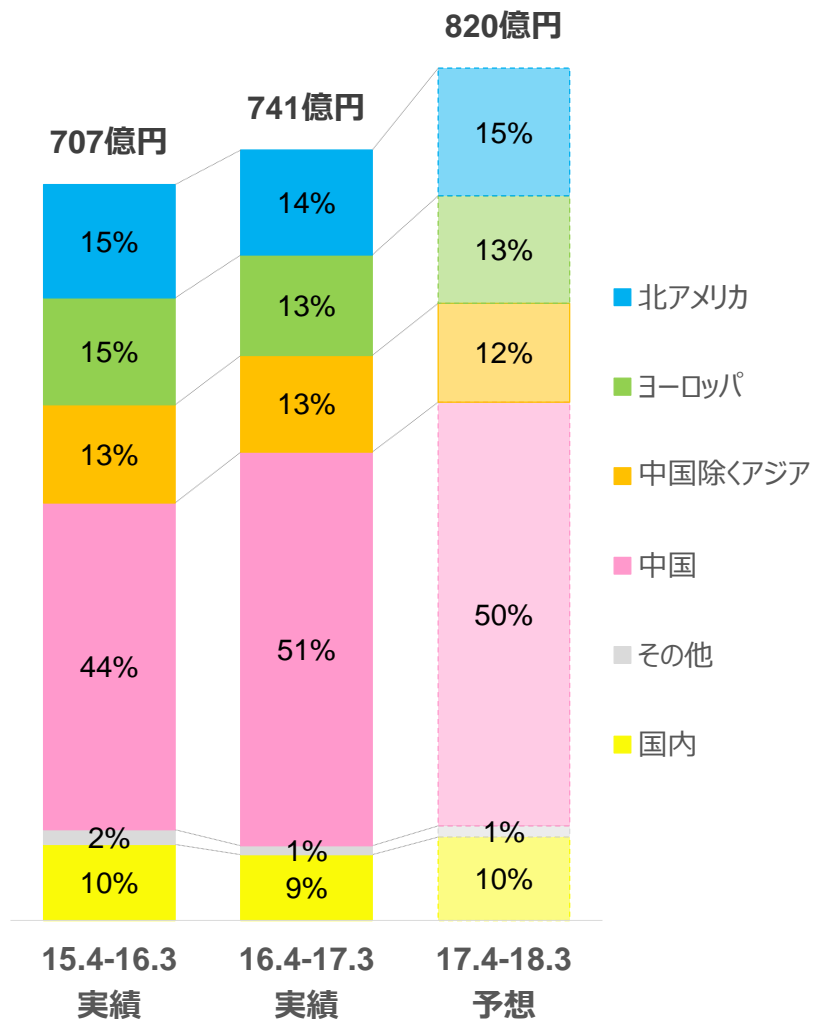
売上高

受注残高

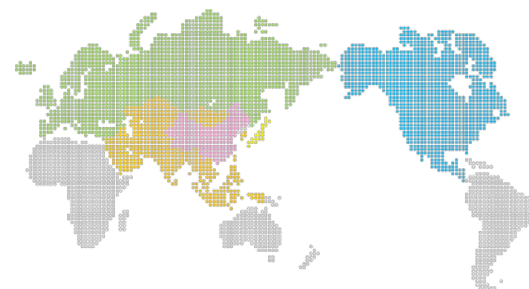
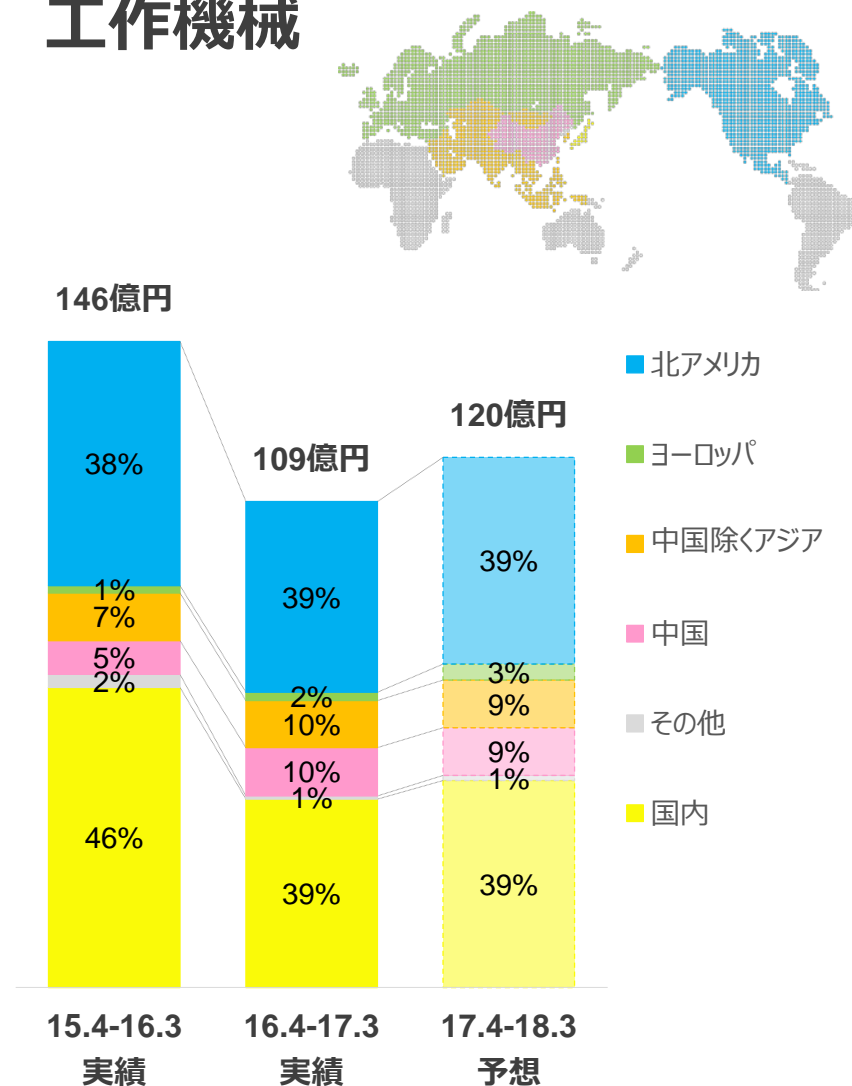
	受注高			売上高			受注残高		
	16.4-17.3実績	17.4-18.3予想	対前期増減	16.4-17.3実績	17.4-18.3予想	対前期増減	17.3実績	18.3予想	対前期増減
ロボットソリューション	80,981	79,500	▲1,481	74,105	82,000	+7,895	16,187	13,687	▲2,500
工作機械	11,776	12,000	+224	10,997	12,000	+1,003	7,654	7,654	±0
その他	1,265	2,500	+1,235	1,294	2,000	+706	136	636	+500
合計	94,024	94,000	▲24	86,397	96,000	+9,603	23,978	21,978	▲2,000

地域別売上高予想

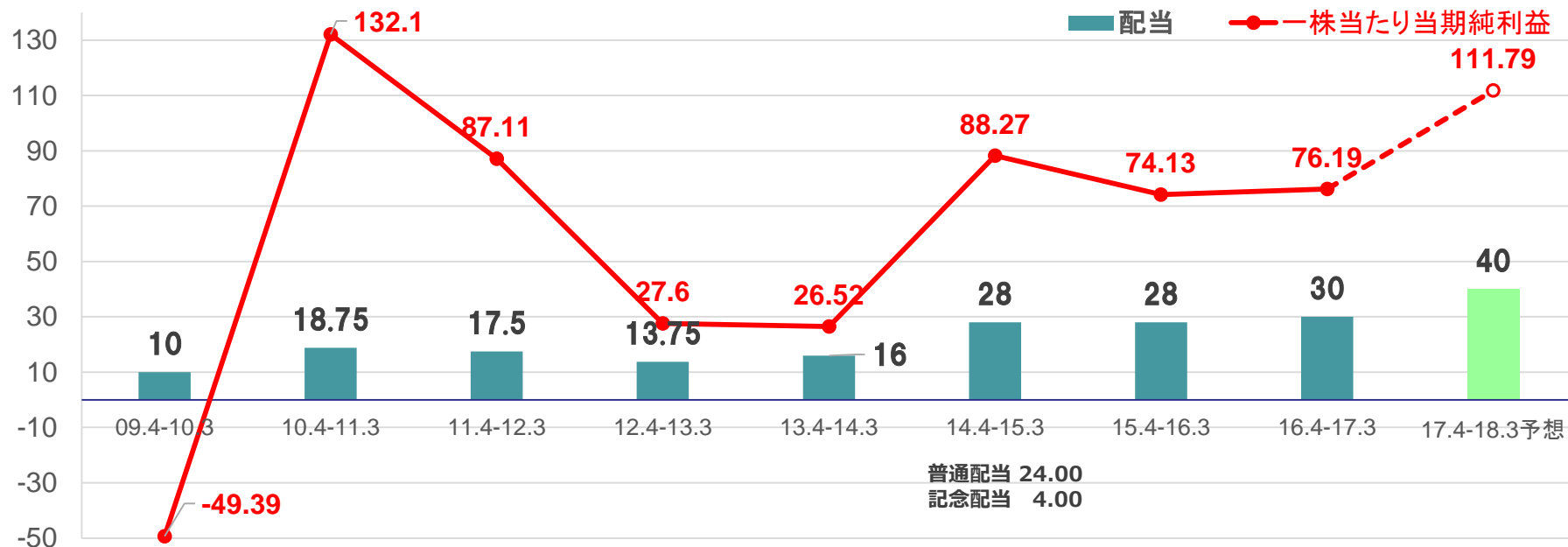
ロボットソリューション



工作機械



1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	09.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3	17.4-18.3 予想
配当性向	-	14.2%	20.1%	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	39.4%	35.8%

注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

上記では当該株式分割が2009年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

() 普通配当の配当性向

自己株式の取得について

2016年3月10日～2017年2月28日の期間で8,303,800株を取得

2017年3月末時点で8,372,922株保有（発行済株式総数に対する割合8.56%）

中期経営目標（2015～2017）

新しい価値を創造し、名実ともに1,000億円企業を実現

ロボットソリューション

「ネクストステップ 30」

- ・次期戦略機の開発加速
- ・市場開拓とサービスの強化

工作機械

「利益体質の再構築」

- ・DLFnを旗艦機種に導く
- ・販売・サービス力の強化

新規開発

「新事業創出」

- ・新技術の創出とコア技術の深耕
- ・ロボットイノベーションの創出

調達・生産

「調達生産革新」

- ・調達、生産物流の再構築
- ・QCDのあくなき追求

ロボットで未来を拓く富士機械製造

「企業価値向上に向けた全社的取組み」

- ・組織力の強化
- ・コンプライアンスの遵守
- ・ワークスタイルの変革
- ・IT戦略の立案、実施
- ・戦略的財務・経理体制の強化と推進
- ・グローバルな情報開示



ロボットソリューション事業

事業部方針

『ネクストステップ30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ◆ 米国は企業収益の改善を背景に製造業に持ち直しの動き
- ◆ 欧州は緩やかな景気回復
- ◆ 中国は減速が続いていた製造業の設備投資が改善傾向
- ◆ 日本国内、円高の影響により、設備投資に慎重な姿勢

■マウンター需要

- ◆ 市場規模：2016年度 約2,200億円(上期1,100億円、下期1,100億円)
2017年度 約2,300億円(上期1,200億円、下期1,100億円)予想
- ◆ 展 望 :中国および新興国中心に底堅く推移
業界内提携の加速(トータルソリューション需要の増加)
スマートフォンのモデルチェンジによる投資の活性化
IoT加速/クラウドソリューションの拡大
自動車の電子化推進(燃費軽減、安全対策、情報処理…)

ロボットソリューション事業

事業戦略

『お客様第一主義に基づく需要の創出』

営業

- ◆ 成長市場(車載、スマート機器関連)顧客の獲得
- ◆ SMT前後工程市場の攻略
- ◆ Smart Factoryの拡販

開発

- ◆ 次期戦略機の開発加速
- ◆ 既存製品の機能・品質向上
- ◆ Smart Factory実現に向けた統合生産システムNeximの機能向上

生産

- ◆ 調達製造リードタイム短縮による生産効率の最大化
- ◆ サプライチェーン改革によるQCD向上
- ◆ 工場内IoT推進によるフレキシブルな生産体制構築

ロボットソリューション事業 主要製品

NXT-H



高精度生産に対応

NXT
Fuji Scalable Placement Platform



AIMEX III
AIMEX III C



変種変量生産に対応

電子部品実装ロボット

電子部品装着機

スマートファクトリーを
実現するキーシステム

Nexim

統合生産システム



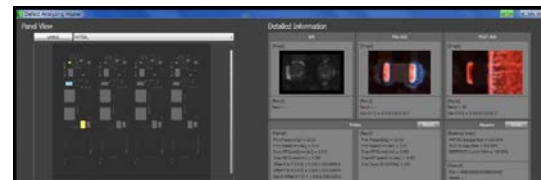
汎用組立機

Smart FAB

Smart Factory 構想



ライン全体
進捗・稼動・品質
モニタリング&分析



自動倉庫



Nexim



印刷機フィードバック制御

マウンターフィードバック制御

ライン全体自動段取り替え

Tower Factory 子会社化

自動部品倉庫

本社:ドイツ、フリードベルク

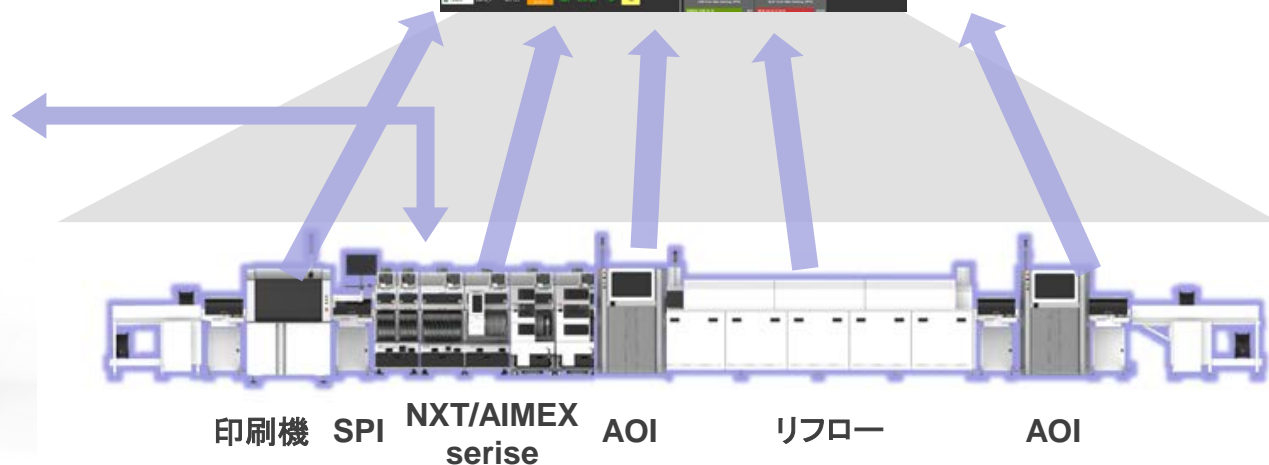
社長: Pierre De Menech

役員: Klaus Gross(FME社長)/江崎取締役

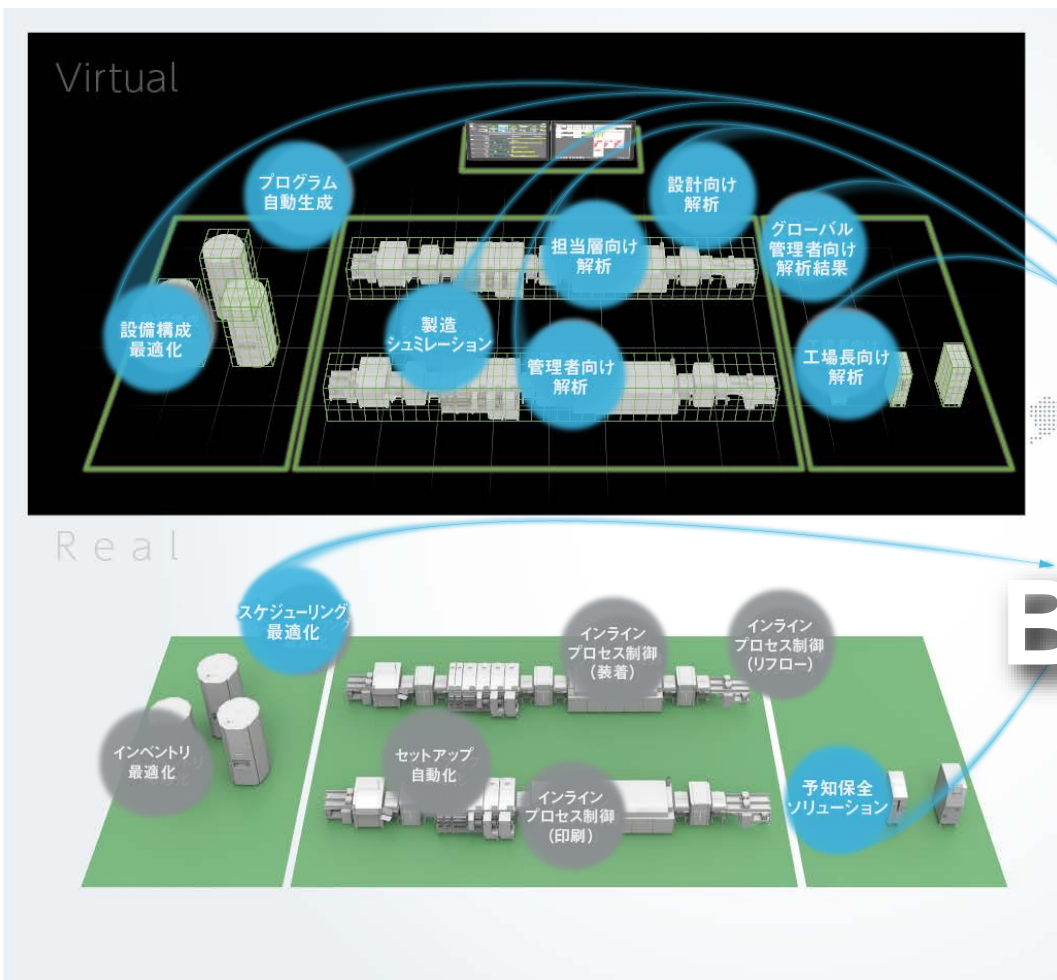
連結子会社開始日:2017年3月より

決算期:1~12月決算

主な事業:自動倉庫「sTower」の生産、販売



AWSのテクノロジーパートナー 認証



Cloud
AI
Big data

工作機械事業

事業部方針

『利益体質の再構築』

事業環境

■国内では自動車や半導体製造装置、航空機関連で需要が継続的に見込まれる。米国では減税やインフラ投資等への期待の高まりから好影響を期待。欧州は全体的に緩やかな回復が続き、中国は建設機械や自動車、電機・精密等の分野で需要が見込まれる。（日工会）

- ◆2016年(暦年)受注実績:1兆2,500億円
- ◆2017年(暦年)受注目標:1兆3,500億円
- ◆市場全体において潜在需要はあり、緩やかな伸びを期待

事業戦略

『販売戦略に基づく収益改善』

営業

- ◆ DLFnによる新規顧客開拓
- ◆ 海外展開の拡大、商社との連携強化

開発

- ◆ DLFnシリーズの充実
- ◆ 既存製品のモデルチェンジとマイナーチェンジの実施

生産・ 機械加工

- ◆ DLFn生産体制の整備
- ◆ 生産性向上、短納期対応

工作機械事業 主要製品



CSD300

正面2スピンドル旋盤



TN400R

横型NC旋盤



DLFn

モジュール型生産設備

革新的モジュール型生産設備 **DLFn**

DLFnモジュール拡充によるミニチュアファクトリー実現
旋盤モジュール、ドリミルモジュールほか

第44回機械工業デザイン賞
日本力（にっぽんぶらんど）賞
受賞



省スペース&自動化

当社従来実績ライン **11 m**



DLFn構成ライン **4.5 m**



DLFn

ワーク搬送ロボットを
ベースモジュールに搭載



モジュール方式採用で
ライン構成が自在に



FUJIの革新的なロボット技術

スマートファクトリー

平成28年度 全国発明表彰
文部科学大臣賞 受賞

ミニチュアファクトリー



高精度・高生産性



革新的なロボット技術の展開

小型モジュール式電子部品実装装置の発明

第6回 ロボット大賞

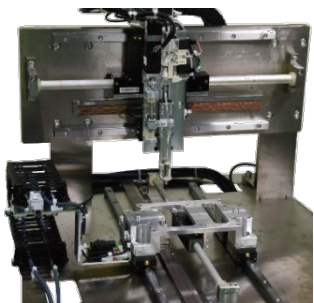


高精度・高生産性・低衝撃

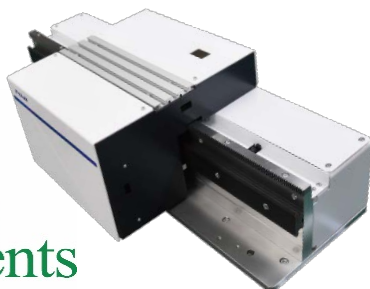
FUJI Innovation LABO 設立

新技術・新事業創出に向け、多角的な視点を取り
込む1つの手段としてアメリカ・カリフォルニア州北部の
シリコンバレーにて技術研究所を設置

第1回ロボデックスに出展 (2017.1.18-20)



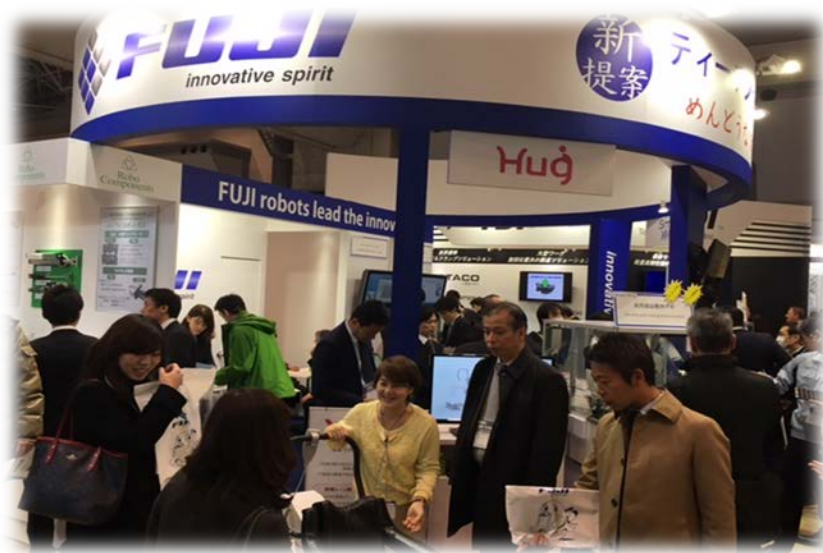
リニアモーター



ワイヤレス電源

Smart Wing

HUG
移乗サポートロボット ハグ



ものづくり現場にもたらす革新



介護を変えるテクノロジー

FUJI robots lead the way
ロボットで未来を拓くFUJI

成長戦略

ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・
ロボットシステム等
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



工作機械

(ロボット搬送システム)



電子部品実装ロボット

(ロボティックマウンター)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

解析技術

コアテクノロジー

ビジョン
技術

モーション
コントロール
技術

ソフトウェア・リニアモーター等
自社開発等

効率的な資金活用による迅速な施策実現

販売力強化

研究開発

M&A

技術提携

モノづくりアライアンス

資本参加

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。

株主の権利・
平等性の確保

株主以外のステーク
ホルダーとの適切な
協働

株主との対話

取締役会等
の責務

適切な情報開示と
透明性の確保

1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・英文開示の充実
 - ・招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
 - ・取引先・地域社会との絆
 - ・生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・IR説明会開催、SR面談の随時対応